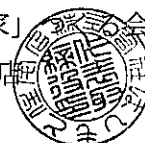


(提案様式1)

平成 24年 1月 17日

提 案 書

申請団体名 みんなで「ふくしまの家」
 代表会社名 株式会社 はしもと住宅店
 代表者名 代表取締役 山田俊嗣
 代表者住所 福島県田村郡三春町字小滝 18-1
 電 話 : 0247-62-2811
 F A X : 0247-62-2899



主な活動地域（複数ある場合は優先を付けて①,②…,⑧と表示してください）
 ※会社の現住所ではなく、住宅供給活動を行う地域としてください

⑥ 喜多方

③ 県北

⑦ 相双

⑤ 会津若松

① 県中

⑧ 南会津

② 県南

④ いわき

団体内の総会社数 (5178 社)
 総業種数 (8 種)

	代表設計事務所	代表工務店	林業・木材関係 事業者
会社名	清建築設計	株式会社はしもと住宅店	共和木材株式会社
住所	田村郡三春町字小滝 18-1	田村郡三春町字小滝 18-1	東白川郡塙町大字西川内字鶴巻田 10
電話番号	0247-62-2811	0247-62-2811	0247-43-0072
代表者名	橋本孝一	山田俊嗣	佐川廣興
設計事務所登録番号/ 建設業登録番号/ 木材業者登録番号	第 12 (304) 0927	(特-23) 第 14858 号	第 3 2 0 5 1

(提案様式2-1)

連携団体内会社一覧

設計事務所 10 社 ※提案様式2-2に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	主な分野
1	清建築設計	三春町	橋本孝一	設計・監理
2	(株)T.R. 建築アトリエ	郡山市	五十嵐 徹	設計・監理
3	(有)古川弘建築設計室	郡山市	古川 弘	設計・監理
4	(有)タック構造設計	西白河郡矢吹町	高桑正晴	構造計算

施工 19 社 ※提案様式2-2に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	職種
1	株式会社はしもと住宅店	三春町	山田俊嗣	建築工事業
2	(有)新妻工務店	いわき市	新妻登喜子	建築工事業
3	マルヨシ工業(株)	二本松市	渡辺智広	建築工事業
4	(有)白岩建匠	会津若松市	白岩司志	建築工事業

林業・製材業 9 社 ※提案様式2-2に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	協和木材(株)	東白河郡塙町	佐川廣興	製材業
2	田村森林組合	田村市常葉町	早川英二	木材業
3	有限会社福島原木センター	福島市	佐藤政俊	木材業
4	丸三木材(株)	二本松市	前田英俊	木材加工業

資材メーカー 4 社 ※提案様式2-2に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	主な取扱
1	トーモク株式会社	白河市	斎藤敬	建築資材
2	ハイビック市売北日本(株)	郡山市	杉山晃	木材建築資材
3	和以美株式会社	郡山市	大越新一	建築資材
4	安達屋金物(株)	郡山市	大藤隆士	建築資材

宅建業 6 社 ※提案様式2-2に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	備考
1	増子不動産株式会社	白河市	増子文江	第30067号
2	(株)ナカノコーポレーション	郡山市	加藤隆治	第1528号
3	住い福島(有)	福島市	二瓶薫	第2336号
4	東洋不動産(株)	若松市	星吉男	第50054号

(提案様式 2 - 2)

その他 31 社 ※提案様式 2 - 1 に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	一級建築士事務所アトリエ 楓	白河市	十文字孝	設計事務所
2	一級建築士事務所 清建築設計室	郡山市	清利幸	設計事務所
3	国分建築設計事務所	田村市	国分敏行	設計事務所
4	甚野建築設計事務所	福島市	甚野勝男	設計事務所
5	設計工房DIG	いわき市	坂本英治	設計事務所
6	(有)北斗設計	会津美里町	佐藤満	設計事務所
7	(有)安斉工務店	本宮市	安斉佳二	建築工事業
8	(株)ウッドィ・ホーム	郡山市	遠藤良美	建築工事業
9	(有)小島工務店	会津高田町	小島 敦	建築工事業
10	(有)酒井工務店	北塩原村	酒井利美	建築工事業
11	昭栄創建(株)	郡山市	田母神昭夫	建築工事業
12	(有)信和創建	三春町	三瓶 信	建築工事業
13	(株)スタジオ イエモン	郡山市	西條一江	建築工事業
14	(有)デザインハウス	会津若松市	吉川昌昭	建築工事業
15	(株)トモホーム	いわき市	大友一浩	建築工事業
16	舟木建築	浅川町	舟木武昭	建築工事業
17	堀口工務店	郡山市	堀口一夫	建築工事業
18	(株)ホルツパウ	会津若松市	木村浩介	建築工事業
19	(有)山岸建設	福島市	山岸陸雄	建築工事業
20	(有)吉田技建	白河市	吉田 充	建築工事業
21	(株)渡昭建築企画	郡山市	渡辺昭彦	建築工事業
22	(株)赤井製作所	いわき市	鈴木裕一	木材業
23	(有)伊藤材木店	三春町	伊藤惣松	木材業
24	金山町森林組合	山形県最上郡金山町	岸 三郎兵衛	木材業
25	(株)山大	宮城県石巻市	高橋貞夫	木材業
26	(株)三春町づくり公社	三春町	橋本孝一	不動産業
27	永井事務所	三春町	永井寿久	司法書
28	ベストファーム行政書士法人	福島市	斉藤浩一	行政書士
29	ベストファームエステート(株)	郡山市	斉藤 真利江	不動産業
30	トーモク株式会社	白河市	斎藤 敬	介護保険法全般
31	メディアサポート	郡山市	阿久津 則行	建築申請サポート

※提案様式 2 - 1 に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
銀行 (金融業)	5 社	保険会社	5 社

(提案様式 4 - 1)

団体の基本方針・具体的手法

※「基本方針例（別紙Ⅱ）」を参考にしてください。

1. 連携体制の規模、多様性

(基本方針)

被災者の生活再建と地域社会に貢献することを目的とし、設計者、工務店、木材業、不動産、行政、福祉、融資、保険等の住まいに関する広範囲の分野での連携と指導力の啓発、情報の共有化に努めるとともに、復興住宅に住まう人の安全で快適な暮らしへの提案を図り、地域の資材、人材を活用し地域社会の繁栄に寄与する。

(具体的手法)

1. 各業種が連携体制をとり地産地消と新たな雇用の創出を図る。
2. 地域工務店が窓口となり各分野の専門業種と連携することにより、福島県の地域性に配慮した住まいづくりを設計から施工まで一貫してフォローする。
3. 各業種が連携し、良質な住宅のコストを抑え、スピーディーに供給するための整備の構築。
4. 地場会員による長期的なメンテナンス、住まい方アドバイスを推進する。
5. 地域内・地域外での連携はもとより資材・技能者不足の時には県外からの協力体制の整備。
6. 随時、説明会を開き、住宅づくりに係る連携業種の呼びかけ・会員募集。

2. 事業の実現性（供給計画 3カ年程度）

(基本方針)

三春町で建設した応急仮設住宅では、地元工務店の代表として携わり、小さな工務店集団でも、知恵と技術を出し合い、流通コストを抑えれば、短期間に多数の質の高い住宅建設も出来ると実証。今回の復興住宅では、住まいを求める人が、県の全域にいることを踏まえ、広範囲に対応し連携できる組織としました。

提案する外断熱・通気工法は20年以上の実績があり、人にも建物にもやさしい、省エネ・高耐久の建物と評価を受けております。施工する工務店は外断熱・通気工法の実績がある知識・技術がある各地域工務店を集めた。

(具体的手法)

1. さらにコストを抑えた商品開発、仕入れ流通の工夫。
2. 様々な敷地に合わせて企画型間取りプランの蓄積、バリエーションの充実。
高齢者・障害者対応の平屋プランも用意。
3. 随時、説明会を開き、参加会員の呼びかけ・募集。
4. 一貫とした商品説明と確かな施工体制を確保する為、定期的な研修・勉強会を実施。
5. 工期短縮を常に意識し、工期を基本60日とする。
6. 年間棟数100棟を目指す。3カ年供給の維持向上に努める。

3. 復興住宅コンセプト (維持管理、プラン、環境対応、コスト、地域性等)

<p>(基本方針)</p> <p>住まいは人の住む器、それぞれの家族構成、住まいに対する想いを配慮し、快適で暮らしやすい住宅を前提とし、地域の居住環境にあわせ、一年中快適で長持ちする住宅を、コストを抑えつつ、高性能で長期優良住宅認定も標準とした、外断熱・通気工法「木の家」を提案。</p>
<p>(具体的手法)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 壁体内の内部結露を防ぎ、カビダニの発生を抑え、家の高寿命化と住む人の健康を守る。2. 太陽光や地熱、通風等のパッシブエネルギーを利用した、冬あたたかく、夏涼しい省エネ住宅。3. シンプルな間取りは家族のライフスタイルに合わせて成長する住まい、基本2階はオープンで、建主の要望で自由に生活スタイルで間仕切れる。4. 間取りをのパターン化、仕様の統一、使用材料などの仕入れの合理化を図り、コスト削減、品質確保の仕組みづくりを関連業種と構築。5. 県内全域、広範囲に対応し、その地域工務店が窓口になり連携できる組織を構築。6. 住宅づくりを通し、地域の活性化、地域らしさと地域の資産価値の向上に寄与する。7. 地域の設計者、工務店が携わることにより、長期的なアフターメンテナンスが可能。

4. 品質、性能確保

<p>(基本方針)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 優れた耐久性と温熱環境性能をもち、地熱や通風といったパッシブエネルギーを利用し、省エネ住宅、外断熱・通気工法「木の家」を提案。C値1.0以下、Q値2.4以下を確保。2. 長期優良住宅を標準採用。耐震等級3、省エネ等級4、維持管理対策等級3、劣化対策等級3。
<p>(具体的手法)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 全棟気密測定を構造時・完成時に2回実施し、数値で住宅性能を表示。2. 指定部材を使用し、技術者研修、特約検査を行い、施工技術の均一化と品質維持に努める。3. 長期優良住宅を利用し、住宅履歴情報の整備、蓄積を行う。4. 住宅瑕疵担保責任保険の第3者機関による検査の実施。

5. 県産材・地域材の活用

<p>(基本方針)</p> <p>地産地消で積極的に地域材、県産材を活用し、地域の活性化を図る。</p>
<p>(具体的手法)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 既存の展示場を利用したり、建築中の現場見学会を通じ、地域材の良さを体感してもらう。2. 地域材を取り扱う木材業との連携により、安定確保に努める。3. 地域材を使用し「木のいえ整備促進事業」、「森を木づかうふくしま住まいる事業」等の補助金を積極的に活用。

6. 各種手続き代行

(基本方針)

住宅の相談、建主の土地探し、設計、施工、資金計画、保険、登記手続き、福祉、アフターメンテナンスまで一貫して行う。

(具体的手法)

1. 各地域の工務店が各業種と連携し、復興住宅の相談会を実施。
2. 地域工務店が窓口になり、各業種と連携し、住まいに関する相談に対応。手続きの代行を行う。
3. 地域工務店が長期優良住宅のメリットをしっかりと説明し、補助金申請もサポートする。

7. ふくしま（地域）らしさの取り入れ

(基本方針)

「共有する豊かさ、共同で行う仕事、所有する無駄」を踏まえ、その地域ごとに住む人達が、日常生活の中で、共有する豊かさを求め努力する。

この理念をつくり手である地域工務店が理解し、建主にきちんと説明できることが大切。

(具体的手法)

1. 建主とつくり手が、その地域の街並み、気候風土、伝統的文化等を理解し、共有する家づくりを進めていく。その例として、深い軒、庇、雪対策、暑さ対策、建築協定等がある。
2. 自分の敷地内で、好き勝手に建物を建てるのではなく、意識の共有を図り、地域はみんなの共通財産という事を理解し、生かし、共に働くことにより、地域らしさとふくしまらしさを構築することに取り組む。そうすることにより、地域の資産価値の向上につながる。

8. 地域における先導性（活動）

(基本方針)

建主が自分は地域の一員であり、地域は共通財産という事を理解し、地域らしさとふくしまらしさの模範となる住宅が親の代、子・孫の代まで愛着を持って、永く住み継がれていく家づくりを目指す。

(具体的手法)

1. 地域工務店が、建主に地域らしさを理解してもらい、地域の模範となる住宅を建てる。
2. 地域らしさのモデル住宅として現場見学会、説明会を通じ、近隣住民に理解を深めてもらう。
3. 将来、家を住み継ぐ若い人たちにも、住みながら地域を意識し、意識の共有を図る。

9. 原子力事故及び風評被害対応

(基本方針)

建主とその家族が安心し、健康に住める家づくりとして、敷地の線量低減の工夫、資材の線量を明確化し、放射能を建物内に取り込まない住宅の提供。

(具体的手法)

1. 計画敷地の線量を測り、状況によっては表土すき取りの提案、実施。
2. 木材の線量を測る体制を木材業者と協力し構築。
3. 資材納入業者に線量測定の協力体制の構築。
4. 外断熱と高気密樹脂サッシを採用し、気密性能を高め、土壌の埃の侵入を防ぐ。
5. 24 時間計画換気システムではHEPAフィルターを提案。

10. 省エネルギー、再生可能エネルギーの活用

(基本方針)

1. 優れた耐久性と、温熱環境性能をもち、太陽光や地熱、通風といったパッシブエネルギーを利用した省エネ住宅、外断熱・通気工法「木の家」を提案。
2. 雨水貯留タンクを利用した、雨水の再利用。創エネでは太陽光発電システム設置の提案。

(具体的手法)

1. 外断熱・通気工法の仕組みを建主に理解してもらう様、説明会・温熱環境の勉強会を実施。
2. 建てた後、建物の性能、住み心地を最大限に引き出す「暮らし方BOOK」を活用・共有し、ソフト面でも建主が「愛着」持って住み慣れていく暮らし方への支援を行う。
3. 敷地配置計画、間取り計画、外構計画の段階から自然光・自然風を効果的に取り入れる提案。
4. 夏の暑さ対策として日射遮蔽効果が高い、軒や庇を建物のデザインに上手に取り入れる提案。
5. 建物下の地熱の利用と、躯体内通気による排熱効果による省エネ住宅の説明提案。
6. 再生可能エネルギーに関する勉強会、研修を実施し、建主に提案。

※応急仮設住宅の資源の再利用の提案と再利用について

三春町復興住宅つくる会で建設した、既存仮設住宅の使用材（構造材、仕上材・杉板、断熱材、複合樹脂サッシ等）は復興住宅でも使用可能。部分利用や、物置小屋としての移築の提案、活用。

仮設住宅から復興住宅へ。



三春町内の木造仮設住宅においては、冬の寒さ対策を優先に考え、ベタ基礎、外断熱の仕様で、住む人の気持ちに配慮した戸建形式の仮設住宅を造りました。今後は、三春町内のみならず、より広域に対応できる集団として英知を結集し、再建者のニーズに対処していきます。

みんなで「ふくしまの家」つくる会

家族団らんの暮らし

今、そして5年、10年、30年先、さらには次の世代までの暮らしを見すえた住まい。家にあわせて生活するのではなく、生活にあわせて家のかたちが変わっていく。家は家族とともにあり、家族の歴史、記憶を刻み込んでいきます。



ふくしまの木でつくる「木組みの家」平屋Ver



みんなでつくる【木の家】

身も心もほっとくつろげる、ゆっくり休まって、リフレッシュできる、五感にやさしい木の家。そんな、あたたかみや安らぎを与えてくれる家に、人は自然と愛着をもち、親から子へ、孫へと受け継がれていく家をご提案します。

建設費用

本体工事	¥1,080万円
設備工事	¥120万円
付帯工事	
合計	¥1,200万円

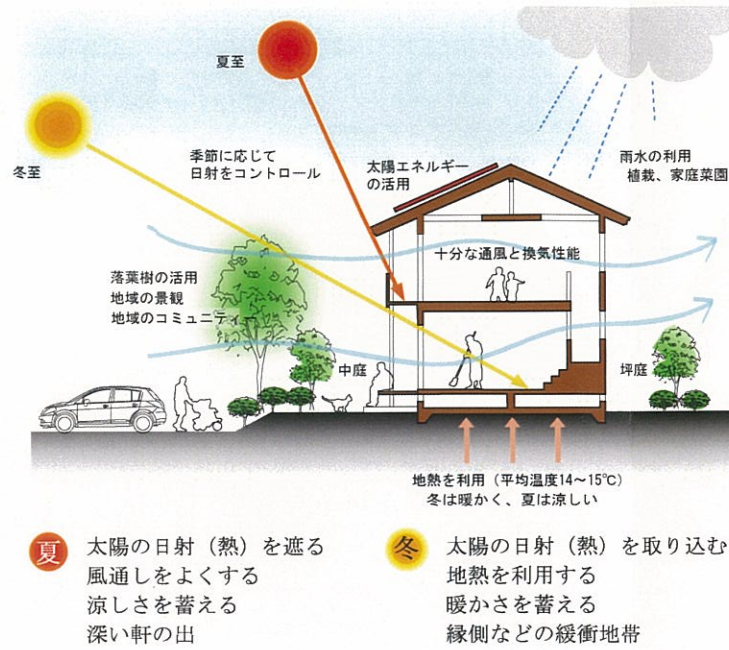
主な仕様

材料	地域材活用・在来軸組
屋根	ガルバリウム鋼板
外壁	サイディング
断熱	壁、屋根50ミリ
開口部	樹脂サッシ
設備	システムキッチン、UB、洗面、便器、照明、エアコン、給湯、カーテン、下足入

面積

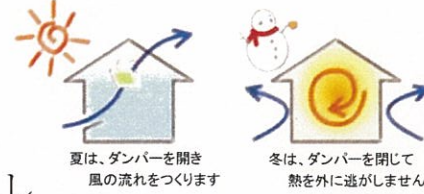
建築面積	52.17㎡ (15.75坪)
1階面積	44.71㎡ (13.50坪)
2階面積	44.71㎡ (13.50坪)
延床面積	89.42㎡ (27.00坪)
小屋裏1.4m以下	14.85㎡ (4.5坪)
施工面積	104.27㎡ (31.5坪)

太陽、風、地熱など自然のエネルギーを有効活用



夏の暮らし

冷房機器に極力頼らずに、快適性を実現するため、家全体の温度上昇を抑える断熱材と、余分な温度・湿度を排出する機能が、自然で爽やかな空気で家中を満たします。



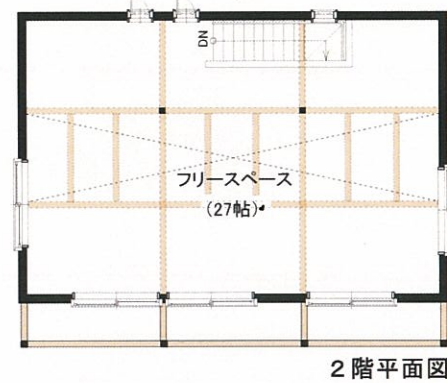
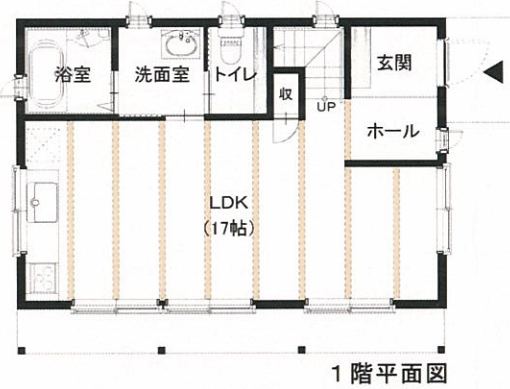
冬の暮らし

オープンな間取りでも、冬に寒くないのは、断熱・気密と通気工法にあります。1階でも底冷えせず、北側の部屋が寒くなるということもありません。どの部屋にいても、しっかり保温されている自然の暖かさを実現します。

縁結びの絆、ふくしまの家づくり。

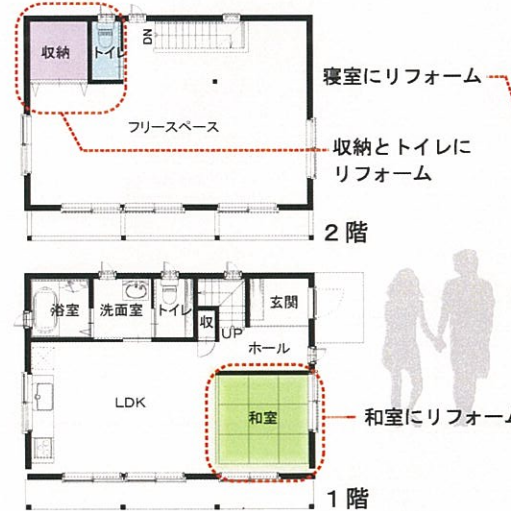
家族構成の変化に応じて、進化する間取り

>> 1LDK・ベースプラン



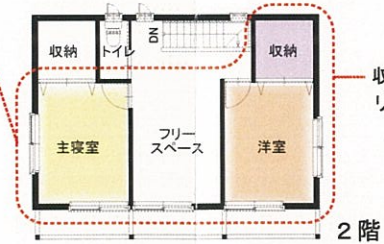
>> 2LDK

子どもの誕生。両親の訪問も増えたので、客間兼、宿泊用の和室を追加。



>> 3LDK

自立性を高めるために、子供の個室と収納、寝室を追加。



>> 4LDK

2人の子どもに個室を設けるため4LDKプランにリフォーム。

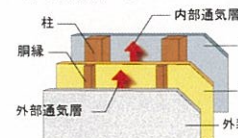


【シミュレーション例】
ご要望に応じて変更可能です。

家族構成やライフスタイルの変化にあわせて、柔軟に間取りが変更できるよう考えられた進化型住宅です。床先行の施工から間仕切りを入れるので、将来のリフォームは壁の間仕切り施工が中心となり、コストの軽減や施工期間の短縮にもつながります。

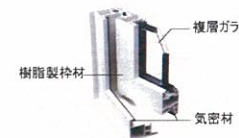
基本性能は、長期優良住宅+外断熱・通気工法の仕様

外断熱方式



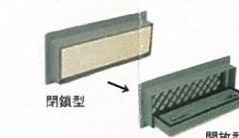
柱の外側から断熱材で覆う外断熱工法は熱気や冷気の侵入を防ぎ、結露の発生を抑えます。

樹脂サッシ



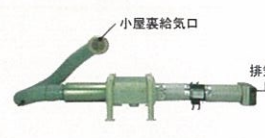
断熱性と防露性に優れた高性能樹脂サッシ。カビ・ダニの温床となる結露から守ります。

床下ダンパー



冬は閉じて冷気の侵入を防ぎ、夏は開けることで風通しがよくなり開放型住宅になります。

小屋裏ダンパー



夏に、壁の中や屋根にこもった熱気を外に逃がします。冬は、閉じて気密性を高めます。

換気システム



1日24時間、1年365日、住まいに理想的な空気環境を実現するのが計画換気です。

